

令和4年4月22日

関係者各位

筑波大学学園祭実行委員会

委員長 青木 颯汰



第48回筑波大学学園祭の実施形態に関するお知らせ

穀雨の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことお慶び申し上げます。筑波大学学園祭実行委員会委員長の青木と申します。第48回筑波大学学園祭は、令和4年11月5日から6日にかけて開催される予定でございます。弊委員会では、来る学園祭の実施形態に関しまして、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を適切に講じた上で、「雙峰祭」としての魅力を最大限引き出せるよう検討を進めてまいりました。

検討を重ねた結果、今年度は、来場者を原則として学内者(本学学群生及び院生、並びに教職員の総称とする)に限定した上で対面開催を実施し、並行してオンラインによる企画も実施する方針といたしました。

こうした決定の背景には、未だ先行きの見えない社会情勢が続く中、広域から数万人規模の来場者を受け入れつつ、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を適切に実施することが非常に困難であるという点がございます。全面的な対面開催を望む声があるということも重々承知しておりますが、本学の構成員を守るためにも、何卒ご理解いただきたく存じます。よりよい学園祭となるよう委員一同全力で取り組んでいく所存でございますので、皆様もご協力いただければ幸いです。

今後とも弊委員会をよろしく願いいたします。